

主 要 変 更 点

マークII マイナ チエンジのねらい

1. 50年排出ガス浄化対策のための準備

参照ページ

- (1) エンジン ルームの拡大 (12)

50年排出ガス浄化の諸装置が取り付けられるようエンジン ルームを拡大し、エンジン搭載位置を前方へ15mm移動させました。

- (2) 冷却性能の向上 (14)

18R-G(R)を除く全エンジンともラジエータの放熱量を向上しました。

2. 安全性の向上, 充実

- (1) RX系ブレーキのサイズ アップ (27)

RX系GL, GSLのブレーキ性能を向上させるため、MX系と同じS16型ディスクブレーキを装着しました。同時にタイヤを14インチに変更し、足廻りもMX系と同一にしました。

- (2) ブレーキフルードレベルウオーニングの装着 (28)

RX系GL, GSS, MX系LAにブレーキフルードが減少するとドライバに警告するウオーニング装置を設定しました。

- (3) ブレーキOKモニタ(旧称ブレーキウオーニング)付車種の拡大 (29)

RX系GSL, MX系Lにブレーキ系(液量, ブースタバキューム, ストップランプ, パット厚さ)の異常を警告するブレーキOKモニタを設定しました。MX系LX, LGは既に設定済。

- (4) ESCの改良(MX系Lのみオプション設定) (31)

ESC(エレクトロニツクスキッドコントロール)システムの見直しをして制動時の安定性, フィーリングを向上させました。

3. 操縦性の向上

- (1) ステア特性の改良(除PS付車両) (26)

ステアリングリンク系を変更し、操縦安定性を向上させました。

- (2) 直進安定性の向上(PS付車両のみ) (26)

キャスタ角度を変更して、ハンドルの直進安定性を向上させました。

4. 操作性の向上

- (1) サイドベンチレーションノブを手元に近づけました。 (43)

主 要 変 更 点

(2) ワイパ&ウオツシヤ スイッチ (コラム シフト車はウオツシヤ スイッチのみ) をステアリング ポストに移しました。 (46)

(3) セダン, ハードトップ系全車にトランク オプナーを標準装着しました。 (47)

5. 意 匠 の 変 更

(1) 内外装意匠を変更しました。 (38)

(2) セダン, バン, ワゴン系の角型3眼メータを丸型3眼メータにしました。 (45)

(3) RX系ワゴンのフロア シフト車にコンソールを追加しました。 (44)

6. 車種構成の変更

(1) ハード トップ系のSLグレード車を廃止しました。 (10)

(2) セダン, ハードトップ系のLAグレードのオートマチック トランス ミッション車を廃止しました。 (10)

(3) RX28系のオートマチック トランス ミッション車をコラム シフトからフロア シフトにしました。 (10)

7. 諸 元 変 更

主要諸元新旧対照表

	R X, 11, 21, 27, 28	R X, 12, 22	M X 10, 20	M X 27	R X 17 V
全 長	+55mm	+55mm	+15mm	+40mm	+55mm
全 巾	変更なし	←	←	←	←
全 高	変更なし	+10mm (GL, GSLのみ)	変更なし	←	←
輪 距	変更なし	+5mm (GL, GSLのみ)	変更なし	←	←
車 両 重 量	+10kg	+10~30kg	+15kg	+15kg	+10kg
最低地上高	変更なし	+10mm (GL, GSLのみ)	変更なし	←	←